

UN-HABITAT PRESS

国連ハビタットプレス

vol.3

特集 「女性にやさしいまちづくり」

国際連合によって策定された「ミレニアム開発目標」の中では、「ジェンダー⁽¹⁾の平等と女性のエンパワメント⁽²⁾」への取り組みが重要視されています。女性の視点を取り入れ、ジェンダー平等社会の構築に向けて努力することは、貧困や病気と戦い、持続可能な開発を目指す上で大変重要です。



「女性にやさしいまちづくり」とは、女性の視点を様々な社会問題や都市開発の政策に盛り込み、みんなにとって住みやすい地球社会をつくり出していくことです。

01 まちの抱えるジェンダーの問題。

- 女性土地や財産を運用・継承できる?**
多くの女性は、夫や身元保証人を通してのみ、土地の所有や継承が可能です。
- 女性の社会参画⁽³⁾は充分ですか?**
女性のアイデアや視点は、充分にはまちづくりに反映されていません。
- 女性の働き、認められてる?**
家庭内やコミュニティでの様々な女性の働きは、社会で充分な認知を受けていません。

(1)ジェンダー：身体的・生物学的な性差ではなく、後天的に文化・習慣・宗教などを背景に形成される「男らしさ」「女らしさ」を言います。(2)女性のエンパワメント：個々の女性が自らの能力を高め、政治的・社会的・経済的・文化的な活動の中で尊重される存在となることをいいます。(3)社会参画：単に社会活動に参加するのではなく、意思決定の段階から参加し、実際に行動することをいいます。



02 「女性にやさしいまちづくり」が目指すもの。

世界的に急激な都市化がすすみ、世界人口の1/6は「スラム」とよばれる劣悪な環境で生活をし、貧困から抜け出せずにいます。そんな状況の中で、家族のために水汲みに出かけ、料理をつくり、育児をし、更には家計を助けるために仕事をする女性がたくさんいます。女性の視点を取り入れ、生活基盤を改善することにより、明るく住みやすい「まち」が生まれ、貧困の改善の第一歩となるのです。

政治や経済に女性の視点が届くといけど…

僕たちもコミュニティと家庭の両方に積極的に関わっていかなきゃ。

活動しやすいようにみんなで力を合わせようよ!

女性の視点を入れると、いろんな解決策が出てくるのね!

「女性にとって住みやすいまち」ってみんなにとって住みやすいんじゃない?

安心して歩けるまちにしたいわ

自分にはできないかしら?

考えてみよう!



01 家事や子育てに費やす時間の男女比は、男性「1」に対して、女性は「3」だと言われています。



02 世界人口の男女比は半々に関わらず、世界の富の所有割合は男性が「100」に対して女性は「1」との推計があります。



03 世界で「8億7,500万人」に上る非識字成人の「3分の2」が女性だと言われています。

What Day is Today...?

3月8日は国際女性の日

3月8日は国連が定める「国際女性の日」です。社会における女性の役割とエンパワメント⁽²⁾を促進する日として、世界中で女性の役割やジェンダー⁽¹⁾に関する記念行事が行われます。

制作協力:古賀 佳子

「ジェンダーの平等と女性のエンパワメント」に向けての国際的なあゆみ	
1975年	第1回世界女性会議(メキシコ、メキシコシティ)の開催 翌年から10年間「国連女性の十年-平等、開発、平和」と宣言した。
1979年	国際連合において「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」の採択 国際社会において男女平等にむけた実効性のある行動が必要であるという決意が示される。
1980年	第2回世界女性会議(デンマーク、コペンハーゲン)の開催 前年に採択された「女性差別撤廃条約」への署名が各国代表によって進められる。
1985年	「国連女性の十年」第3回世界女性会議(ケニア、ナイロビ)の開催 過去の経験を活かし、21世紀を見据えた「ナイロビ将来戦略」が採択される。
1995年	第4回世界女性会議(中国、北京)の開催 「女性の権利は、人権である」ことを確認し、女性のエンパワメントやパートナーシップの確立などを盛り込んだ「行動綱領」と、実施にむけた行動への決意として「北京宣言」が採択される。
2000年	国連特別総会「女性2000年会議」(米国、ニューヨーク)の開催 北京会議での「行動綱領」の完全実施を目指し協議が進められる。

国連ハビタットの「女性にやさしいまちづくり」への取り組み	
1991年	「女性とハビタットプログラム」の設立 パートナー機関・団体を通して、女性がエンパワーされるような取り組み。
1996年	「国連ハビタット・ジェンダー政策」の策定 国連ハビタットのすべての活動に適用するジェンダー政策を策定。
1997年	「ジェンダー戦略会議」の設置 定期的にハビタットの職員がジェンダーについての話し合いを実施。
1999年	「ジェンダー政策課」の創設 国連ハビタットの行う全てのプログラムにジェンダーの視点を取り入れるため、持続的に提言をおこなっていく課を創設。

2つの「グローバル・キャンペーン」

- 1.「安定した土地保有」に関するキャンペーン 人々が、一定の土地や家屋に安心して住み続けられる権利の保有を支援。
- 2.「都市ガバナンス」に関するキャンペーン 貧困層を含む全ての人がまちづくりに意欲的に参加し、皆が住みやすい市民参加型のまちづくりを促進。



国連ハビタット(国連連合人間居住計画)福岡事務所は、アジア・太平洋地域における開発途上国の居住問題に取り組みとともに、住民全体の「まちづくり」を推進している九州唯一の国連機関です。

国際連合ハビタット福岡事務所
〒810-0001 福岡市中央区天神アクロス福岡8階
TEL.092-724-7121 FAX.092-724-7124
www.fukuoka.unhabitat.org